令和7年度農業委員会の農地利用の最適化の推進の状況その他事務の実施状況の公表

都道府県名：　岐阜県
農業委員会名：　大野町農業委員会

Ⅰ　農業委員会の状況（令和7年4月1日現在）

※「Ⅰ　農業委員会の現況」については、別紙様式1の内容を転記

1　農業委員会の現在の体制

任命・委嘱年月日　令和5 年 7 月 20 日

任期満了年月日　令和8 年 7 月 19 日

	農業委員	
	定数	実数
農業委員数	14	13
認定農業者	－	6
認定農業者に準ずる者	－	2
女性	－	1
40代以下	－	0
中立委員	－	1

	定数	実数	担当区域数
農地利用最適化推進委員	12	11	1

2　農家・農地等の概要

	経営体数
総農家数	755
農業経営体数	516

※　直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入

	農業者数(人)
基幹的農業従事者数	630
女性	274
40代以下	39

※　直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入

	経営体数(経営体)
認定農業者	55
基本構想水準到達者	34
認定新規就農者	5
農業参入法人	9
集落営農経営	1
特定農業団体	0
集落営農組織	1

※農業委員会調べ

単位:ha

	田	畑				計
			普通畑	樹園地	牧草畑	
耕地面積	818	321	0	0	0	1,140

※　直近の「耕地及び作付面積統計」に基づいて記入

Ⅱ　最適化活動の実施状況

【農業委員会の実績及び点検・評価結果】

※ 「現状及び課題」及び「目標」については、別紙様式1の内容を転記

1 最適化活動の成果目標

（1）農地の集積

①現状及び課題

現状	管内の農地面積(A)	これまでの集積面積(B)	集積率(B)／(A)
	1,140 ha	738 ha	64.7 %
課題	遊休農地が存在する中、経営拡張を望む農家・経営体がいることも事実である。それぞれのマッチングを進めるため、農地中間管理事業の利用案内や、県農業普及課やJAと情報を共有し、農地の確保・有効利用を図る。		

※1 農地面積は、直近の「耕地及び作付面積統計」における耕地面積を記入

※2 「農地の集積」は、経営局長通知の別表1に掲げる者への農地の集積をいう

※3 「集積面積」は、局長通知別表1に掲げる者へ集積された農地の面積をいう（以下同じ。）

②目標

農地の集積の目標年度	令和7 年度	集積率	78.0 %
今年度の新規集積面積	10 ha	農地面積(C)	1,140 ha
今年度末の集積面積（累計）(D)	748 ha	（目標）今年度末の集積率 (E)=(D)／(C)	65.6 %

※ 農地の集積の目標年度及び農地集積率には、設定した目標の根拠とした目標の目標年度及び当該目標年度における農地集積率を記入

③実績

今年度の新規集積面積	0 ha	農地面積(F)	1,140 ha
今年度末の集積面積（累計）(G)	728 ha	今年度末の集積率 (H)=(G)／(F)	63.9 %
目標に対する達成状況(H)／(E)	97.3 %		

農業委員会の点検結果	前年度末の農地集積面積に誤りがあったため、補正を行った数値である。目標設定の見直しを行い、集積面積向上を目指す。

※1 今年度の新規集積面積は、当該年中の集積面積（フロー）を記入

※2 今年度末の集積面積（累計）は、年度末時点の集積面積（ストック）を記入

（2）遊休農地の発生防止・解消

①現状及び課題

現状	直近の利用状況調査により判明した遊休農地の状況		
	1号遊休農地面積	うち緑区分の遊休農地面積	うち黄区分の遊休農地面積
	3.3 ha	1.3 ha	2.0 ha
	農地の利用状況調査の円滑な実施と遊休農地の所有者等への意向確認および指導が必要。また、農地所有者が遠方にいるケースが増加しており、管理が難しくなったり連絡が取れない状況となり、遊休農地が増加していく恐れがある。		

②目標

ア 既存遊休農地の解消

a 緑区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積	0.4	ha
緑区分の遊休農地の解消目標面積(C)	0.1	ha

※ 緑区分の遊休農地の解消目標は、令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積の5分の1の面積を記入

b 黄区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における黄区分の遊休農地	2.2 ha
黄区分の遊休農地の解消のための工程表の策定方針	県、JA等関係機関と連絡を取りつつ、補助金などの支援制度も活用し解消を促進する。

イ 新規発生遊休農地の解消

前年度に新規発生した緑区分の遊休農地の解消目標面積	1.1 ha

③実績

ア 既存遊休農地の解消

a 緑区分の遊休農地の解消

今年度の緑区分の遊休農地の解消実績面積(D)	0.6 ha
今年度の目標に対する達成状況(D)／(C)	600.0 %

b 黄区分の遊休農地の解消

黄区分の遊休農地の解消に向けた工程表の策定状況	策定していない。

イ 新規発生遊休農地の解消

前年度に新規発生した緑区分の遊休農地の解消実績面積	0.3 ha

④その他

農地の利用状況調査	調査実施時期		調査結果取りまとめ時期	
	2026/10/1		2026/12/1	
	1号遊休農地の面積	2.6 ha	うち緑区分の遊休農地	0.7 ha
			うち黄区分の遊休農地	1.9 ha
農地の利用意向調査	調査実施時期		調査結果取りまとめ時期	
	2026/1/1		2026/2/1	

農業委員会の点検結果	目標は妥当であった。農地パトロールを徹底することにより遊休農地化を未然に防ぐよう努めている。また、黄区分の遊休農地に対しても解消指導を継続的に行い、着実に解消を進めている。

(3)新規参入の促進

①現状及び課題

現状	令和4年度新規参入者	令和5年度新規参入者	令和6年度新規参入者
	4 経営体	1 経営体	2 経営体
	1.6 ha	0.5 ha	3.4 ha
課題	「就農準備資金・経営開始資金」や町の補助事業等、農業への新規参入者に対するフォロー事業の周知が十分でないこと、新規参入の意思がある者の情報を各機関で共有し、スムーズな就農を促す。		

※ 現状欄は、直近3年度の新規参入した経営体数と当該経営体に集積した農地面積を記入

②目標

権利移動面積	令和4年度	令和5年度	令和6年度	平均
	41 ha	27 ha	17 ha	28 ha
新規参入者への貸付等について農地所有者の同意を得た上で公表する農地の面積(A)	2.9 ha			

※1 過去3年間の権利移動面積は、農地法(昭和27年法律第229号)第3条第1項に基づく許可及び農業経営基盤強化促進法第19条に基づき公告された農用地利用集積計画による権利移動面積(有償所有権移転(所有権に基づいて耕作の事業に供していたものに限る。)及び賃借権の設定並びに利用権の設定に限る。)を記入

※2 目標面積は、過去3年度の権利移動面積の平均の1割以上を記入

③実績

新規参入者への貸付等について農地所有者の同意を得た上で公表した農地の面積(B)		2.5 ha	
公表URL	なし	(その他の公表方法)	窓口でのリスト閲覧
目標に対する達成状況(B)/(A)		86.2 %	
(参考)新規参入者の参入状況		参入経営体数	8 経営体
		取得農地面積	0.8 ha

農業委員会の点検結果	新規就農を希望し、3条申請により農地を取得される事例が増加した。今後も新規参入の意思ある者に対して農林課と協力して就農を促していきたい。

※ 参入経営体数は、農地を取得して新たに農業に参入した経営体数を記入

2 最適化活動の活動目標

(1)推進委員等が最適化活動を行う日数目標

1人当たりの活動日数	10 日／月	最適化活動を行う農業委員の人数	13 人
		農地利用最適化推進委員の人数	11 人

(2)活動強化月間の設定

①目標

活動強化月間の設定回数	4 回

取組時期	取組項目	強化月間の内容
5月	農地の集積	利用権設定満期到達者への機構事業による更新の推進
8月	農地の集積	利用権設定満期到達者への機構事業による更新の推進
9月	遊休農地の解消	農地利用状況調査の実施(遊休農地所有者への草刈指導などの解消活動を行う)
1月	農地の集積	利用権設定満期到達者への機構事業による更新の推進

※1 取組項目欄は、①農地の集積、②遊休農地の発生防止・解消、③新規参入の促進のいずれかを記入
※2 強化月間の内容欄は、活動強化月間の具体的な取組の内容を記入

②実績

活動強化月間の設定回数	4 回

取組時期	取組項目	強化月間の結果
8月	農地の集積	利用権設定満期到達者への機構事業による更新の推進
10月	遊休農地の解消	農地利用状況調査の実施(遊休農地所有者への草刈指導などの解消活動を行う)
12月	農地の集積	利用権設定満期到達者への機構事業による更新の推進
3月	農地の集積	地域計画変更にかかる協議の場の開催

※ 強化月間の結果欄は、強化月間中に行った具体的な取組の内容とその結果生じた効果等の内容を記入

（3）新規参入相談会への参加

①目標

新規参入相談会への参加回数	1　　回

開催時期	令和7年度中	相談会名	新規就農相談会
参加者数	1人	開催場所	大野町役場
相談会の内容	新規就農希望者に対する面談		

※1　新規参入相談会への参加回数欄は、推進委員等が1名以上参加する相談会の数を記入
（参加者数によらず、1名以上が参加する新規参入相談会ごとに1回とする）

※2　複数の新規参入相談会に参加する場合は、適宜、開催時期以下の欄を追加する

②実績

新規参入相談会への参加回数	2　　回

開催時期	令和7年11月10日	相談会名	新規参入者講習
参加者数	2人	開催場所	大野町内　農地
相談会の内容	新規参入希望者への講習会。		
開催時期	令和8年1月8日	相談会名	新規参入者相談
参加者数	2人	開催場所	大野町内　農地
相談会の内容	新規参入に係る手続についての相談。		

※1　新規参入相談会への参加回数欄は、推進委員等が1名以上参加した相談会の数を記入
（参加者数によらず、1名以上が参加した新規参入相談会ごとに1回とする）

※2　複数の新規参入相談会に参加した場合は、適宜、開催時期以下の欄を追加する（評価点欄は追加しない）

目標の達成状況の評語

目標に対して期待を上回る結果が得られた。

※　別表に基づいて成果目標及び活動目標の各目標の達成状況に対する評語を記入

【推進委員等の点検・評価結果】

評語	推進委員等の人数
目標に対し期待を大幅に上回る結果が得られた	
目標に対し期待を上回る結果が得られた	24
目標に対して期待どおりの結果が得られた	
目標に対して期待を（やや）下回る結果となった	

※　別表に基づいて成果目標及び活動目標の各目標の達成状況に対する評語ごとの該当する推進委員等の人数を記入